

授業科目名	老年看護学実習Ⅱ	担当教員	教授 原 祥子 他		
開講年次及び学期	4年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	実習	時間数	45	単位数	1
授業の目的（概要）					
<p>加齢や疾病に伴う健康上の問題をもつ高齢者を理解し、多様な場で障がいもちながら生活している高齢者とその家族に必要な看護を査定し実践するための基礎的な能力を修得する。また、継続看護および他職種・他部門との連携の必要性とチームにおける看護職の役割を理解するとともに、看護職者としての倫理観や高齢者観を養う。</p>					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康問題をもって施設で生活する高齢者とその家族の特性を説明できる。 2. 高齢者が抱えている健康問題や、望む生き方・暮らし方について説明できる。 3. 健康問題をもつ高齢者の日常生活上の課題を理解し、残存機能と強みを活かしたケアの実践について説明できる。 4. 高齢者の反応を捉えながら、ニーズに沿った援助を施設スタッフとともに実施できる。 5. 施設内のチームケアのあり方について説明できる。 6. 高齢者ケアの場における諸機関との連携・協働のあり方について説明できる。 7. 高齢者ケアの場における高齢者の人権擁護の課題を明らかにし、看護者の役割を説明できる。 					
キーワード					
老年看護、実習、老人保健施設、チームケア、連携・協働、人権擁護					
授業の進め方					
実習					
成績評価の方法（合否基準）					
実践内容、実習記録等の内容、実習態度の総得点を、100点満点に換算したうち、60点以上を合格とする。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
オフィスアワー					
原 祥子・加藤真紀・福岡理英（地域・老年看護学講座）質問等随時					
モデル・コア・カリキュラムとの関連					
A-2-1)学修の在り方 A-2-2)看護実践能力 A-3-1)課題対応能力 A-4-1)コミュニケーションと支援における相互の関係性 A-5-1)保健・医療・福祉における協働 A-6-1)ケアの質の保証 A-6-2)安全性の管理 A-7-2)保健・医療・福祉等の多様な場における看護職の役割 B-3-2)看護における倫理 D-1-1)看護の基礎となる対人関係の形成 D-1-2)多面的なアセスメントと対象者の経験や望み（意向）に沿ったニーズ把握 D-2-2)看護実践に共通する看護基本技術 D-2-3)日常生活の援助技術 D-3-4)老年期にある人々に対する看護実践 D-4-4)慢性期にある人々に対する看護実践 D-4-5)人生の最終段階にある人々に対する看護実践 D-6-2)リスクマネジメント D-6-3)保健・医療・福祉チームにおける連携と協働 E-1-1)多様な場の特性 E-1-2)多様な場に応じた看護実践 E-2-2)地域包括ケアにおける看護の役割 F-1-1)臨地実習における学修 F-1-2)臨地実習における学修の在り方 F-2-2)安全なケア環境の整備 F-2-3)チームの一員としてのケア参画					

授業計画

【実習期間】

- 1) 3年生の3月：第1回 学内オリエンテーション、施設訪問
施設訪問報告書の作成・提出、実習自己目標の設定
- 2) 4年生の8～9月または11月：第2回 学内オリエンテーション、施設実習4日間

【実習場所】

島根県内の介護老人保健施設

【施設実習の進め方】

- 1) 7月末頃までに実習自己目標を設定する。
老年看護学実習Ⅰで経験したことや学びを振り返り、老年看護学実習における自己の課題を明確にし、老年看護学実習Ⅱの実習自己目標を設定する。
- 2) 実習自己目標は、担当教員を通して実習施設へ提出する。
- 3) 学生の実習自己目標を加味して実習指導者が立案した4日間の実習行動計画表をもとに、日々の実習目標・計画を立てて実習を行う。
- 4) 日々の記録は、グループリーダーが学生分をまとめてクリアーホルダーに入れ、実習指導者に提出する。
- 5) 実習施設のケアスタッフとともに、食事、排泄、更衣、入浴、整容、レクリエーション、リハビリテーションなどの援助を実施する。
- 6) 通所リハビリテーションに参加する。
- 7) 実習施設の状況に合わせてサービス担当者会議（ケアカンファレンス）に見学・参加する。
- 8) 各自の実習体験を通して感じたり考えたりしたことを言語化し、グループメンバーで共有することによって、学習経験を豊かにする機会とするためにカンファレンスを行う。
- 9) 実習を通して心に残ったことや疑問に感じたことを振り返り、老年看護のあり方について自らの考えを深めるためにレポートを作成する。

備 考

- ・別に配布する「臨地実習の手引き」を参照のこと